学校番号	T0106

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ（通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新詳世界史Ｂ」（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の歴史に関する正確な知識を習得するのみにとどまらず、衣食住やスポーツなど、世界の歴史が日常生活と深い関係にあるということを理解してもらいたい。
また、同時代に各地域社会がどのように交流し、それによってどのような変化や発展を遂げたのかについて理解を深めてもらいたい。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の流れについて大筋を理解したうえでそれぞれの歴史的事象が後の時代とどう関連付けられるかについて理解する
・歴史的事象について、同時代の日本や他の地域との関係性についても考慮しながら理解を深める
・現代の国際政治や経済と過去の歴史がどのようにつながっているかについて、日ごろから意識することができる

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	衣食住やスポーツなど現代の文化とのつながりについて興味・関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	文明の発展や各地域の紛争など、過去の歴史的事象から学び、それを現代の国際問題と関連付けて思考・判断・表現できる。	地図や文献、写真や映像などについて、同じ出来事に関するさまざまな資料を見比べた上でそこから必要な情報を取得し、思考・判断の材料とすることができる。	世界の歴史について、同じ地域の歴史の流れについて知識を得るのみでなく、他の地域との関わりについても意識しながら理解を深めることができる。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(4月～9月)	地域世界の形成と交流	・オリエント世界と地中海世界の形成 ・南アジア世界の形成 ・東アジア世界のあけぼの	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ 	a:各文明の誕生の背景について興味・関心を持てているか b:身近な地域の文明とそれが現代社会に与える影響について思考・判断・表現できているか c:思考・判断・表現に必要な情報をさまざまな資料から取得できているか d:各文明の誕生の経緯やそれに付随する文化について知識を得られているか	定期考査 ワークシート
	地域世界の発展と変化	・イスラーム世界の形成と拡大 ・ヨーロッパ世界の形成 ・ユーラシア大帝国の出現	○ ○ ○	○ 	○ 	 ○ ○	a:イスラーム世界の形成について現代の国際状況と照らし合わせて興味・関心を持てているか b:イスラーム世界の形成が現代社会に与える影響について思考・判断・表現できているか c:地図や文献などから思考・判断・表現に必要な情報を取得できているか d:ヨーロッパ世界の形成やユーラシア大帝国の出現に関する正しい知識を取得できているか	定期考査 ワークシート

後期（10月～3月）	海洋による世界の一体化	・ルネサンス、大航海時代、宗教改革 ・アメリカの独立 ・フランス革命	○	 ○ ○	○	 ○ ○	a:近世への転換点となるヨーロッパの出来事に関して興味・関心を持てているか b:独立や革命に関して、権力者の立場や革命を起こした側の立場、それぞれの立場から同じ出来事について考え意見を述べられているか c:大航海時代に関する地図やルネサンス期の美術作品などから当時の世界の様子を読み取ることができているか d:独立や革命の流れとそれに関する宣言や法令について正しい知識を得られているか	定期考査 ワークシート レポート
	地球社会形成の模索	・世界の一体化の完成とその影響 ・世界大戦の時代 ・東西冷戦から多極的国際社会へ	 ○ ○	 ○ ○	○	○ ○ ○	a:二つの大戦とその後の東西冷戦について、現代社会の状況と関連付けて興味・関心を持てているか b:二つの大戦から反省点を見出し、それを現代の紛争解決に向けてどのように生かすことが出来るかについて思考できているか c:地図などから帝国主義と世界分割競争の様子を読み取ることができているか d:帝国主義から大戦への歴史的な流れについて正しい知識を得られているか	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。